



# じょうほう 織部

平成29年度

第1号

10月10日発行  
PTA広報委員会

大東高校PTA会報



 *Daito Senior High School*



## ● PTA活動について



PTA会長  
原田 憲一

早いもので織部祭も終わり、季節は秋となりました。皆さまにはPTA活動に格別のご配慮、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。3年生にとって最後の織部祭は、「青春×大東～二度と戻らないこの夏～」のテーマ通り、高校生活の良き思い出を胸に刻まれたように感じています。進路の決まるこれからの時期を頑張りぬくための活力にもなっていることと思います。

今回は、8月24日から25日に開催された、第67回全国高等学校PTA連合大会静岡大会に参加しましたのでご報告します。「有徳の人」づくりをテーマに基調講演、分科会などの学びや、交流を深めました。テーマの「有徳の人」とは、個人として自立した人、人との関わりを大切にする人、より良い社会づくりに参画し、行動する人を

意味して、静岡県ではそのテーマで人づくりを進められています。

基調講演では、NHK大河ドラマ作成などにも関わられる、静岡大学の小和田哲夫名誉教授から「戦国武将に学ぶ子育てと人づくり」として、徳のある武将による人材育成からの地域づくりについて学びました。また、私も参加した防災の分科会では、高校生がパネリストとして参加するディスカッションもありました。東日本大震災以降、岩手県の震災を体験した高校生と交流した高校生が、多くの人々へ防災意識の共有を図るために参加しているのだそうです。静岡県では防災の取り組みが活発ですが、地域のこととして参加する高校生の姿に、自分たちの地域でも世代を超えて取り組むことのできるのだと感じました。この二つから、人と人の良い交わりで良い社会が形成されることを感じた二日間でした。

## ● 「勁草」を支える



校長  
中村 訓子

平素より、保護者の皆さまには本校の教育活動にご支援、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。また、各委員会におかれましても、PTA活動の活性化に努めていただいておりますことに心から感謝申し上げます。

さて、2学期の始業式で、生徒たちに「疾風に勁草を知る」という言葉を贈りました。困難に出会ったとき、苦しい状況に陥った時、真に強い草、すなわち真に強い人間がわかる。という意味の言葉です。強い草が強い風が吹いても飛ばされることのないのは、その草が地中深くにしっかりと根を張っているからでしょう。

では、人間にとっての根っことは何か。それは当たり前だと思って普段は意識にさえ上がらない日常の営みだと思えます。当たり前の日々の営みをどれだけ丁寧に、しっかりと大切に生きているかが、人間の生きる根っこの強さと深さにつながると考えます。そしてそのことは大事が起こった時にも、それを乗り越える力となるはずで

す。情報化社会が成熟し、技術革新が加速していく中で、社会は第4次産業革命と言われる変化への対応を求められます。既に自らが学習する人工知能(AI)はチェスや将棋の世界では人間を上回



る存在ともなっていますし、生徒たちが社会の担い手となるころには、今ある仕事の60%がなくなっているという予測も出されています。

そのような、今ある知識では予測できない社会の中で、自分の立つ位置を定め、社会と向き合いながら自分の生き方を切り拓いていくには、生徒たちにも強い「根っこ」が必要だと考えます。

本年度から本校は雲南市と連携した「教育魅力化」事業に取り組んでいます。「魅力」とは何か、魅力的な教育活動とはどのようなものかなどについて学校全体で議論を深めながら、まずはその前提となる安心・安全な学校づくりに取り組んでいきたいと思っています。そして、これまで大切にしてきた「学習活動」、「部活動」、「地域とつながる活動」の三つを柱として、生徒たちが「勁草」として主体的にしっかりと「根っこ」を広げ、深めることができるように、保護者の皆さまとともに日々の生徒の活動を支えていきたいと思っています。今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

## 総務

総務委員長 永瀬 敏行

総務委員会では、今年度も学園祭の初日(8月31日)に模擬店を出店し、昨年度と同様に大鍋を使用して200食分のカレーとジュースを販売しました。模擬店は、屋外(中庭)で出店したので天候を心配していましたが、晴天に恵まれ、心地よい陽気の中で行うことができました。

当日は、担当の先生方と総務委員が調理室と中庭の二手に分かれて準備を進めました。調理室では、じゃがいもやニンジン、玉ねぎの皮むき、そして野菜を適当な大きさに切り、ボール等に入れて中庭まで運びました。また、中庭では炊飯(12升)と大量の野菜を大鍋で炒めるという工程を行いました。野菜の量が多く炒めるのも一苦勞で、ポットオールのような木製のヘラで焦げないように丁寧に仕上げました。

11時にはおいしいカレーが完成。すぐに販売の準備に取りかかりました。販売開始の11時30分になると、エプロン姿の先生方の威勢の良い掛け声につられて生徒の長蛇の列ができ、あっという間に目標の200食を完売しました。例年、完売まで30分程度かかるところを、今回は15分で完売しました。毎年の恒例行事とあって、皆さんに喜んでいただけたようです。本当にありがとうございました。

模擬店の出店にあたりご協力いただいた皆様には、調理、販売、片付けなどご尽力を賜り、感謝申し上げます。



## 育成

育成委員長 田部 修二

育成委員会では、毎年行っている夏祭りパトロールを、今年も加茂三十三夜祭と大東七夕祭りで行いました。いずれの祭りも特に問題なく、生徒は祭りを楽しんでいました。また、我々パトロール員に対して、にこにこと挨拶をしてくれる本校生もいて、心なりました。

次に、生徒を取り巻く育成環境の課題として3つの課題を保護者としても考えていきたいと思ひます。

一つ目は、パソコン・スマホとの付き合い方です。PTA大会資料でも、4人に3人は平日2時間以上、さらに8人に1人は5時間以上(!)も利用している生徒がいるなど、生徒がネットゲームやSNSに長時間を費やす実態が明らかになっており、トラブルも増えているようです。この現状に保護者も関心を持ち、適切な使い方についての家庭や各支部懇談会での話し合いを呼びかけたいと思ひます。

二つ目は、挨拶についてです。子どもたちにとって、教育や地域の連帯を深める“挨拶運動”は防犯にも効果があり、声をかけることで不審者を寄せ付けない地域力が生まれるそうです。各地区でも積極的な挨拶運動をお願いします。

三つめは、自転車利用についてです。学校では鍵かけ運動やマナーアップの取り組みが行われていますが、各家庭や各地区でも協力して取り組み、防犯や交通安全上の効果を向上させていきましょう。

今年もあと半年です。生徒が安心して学校生活を送れるよう、ご協力をお願いします。

## 広報

広報委員長 黒田 剛

広報委員会では、PTA会報「じょうほう織部」を10月と3月の年2回発行しています。今回発行の「じょうほう織部第1号」には、上半期の行事である入学式、遠足、県総体、球技大会、野球の選手権大会予選、文化祭、体育祭などの記事が載せています。

上半期は季節を感じられる様々な行事が行われました。この上半期は本当にあっという間に過ぎ去った感じがします。学校行事や様々な活動を通して、生徒の皆さんは素晴らしい成長を遂げられたことと思ひます。

部活動においても活躍が見られました。県総体や野球の選手権大会予選に向けて、各部厳しい練習が行われました。その過程で生徒の皆さんは様々な経験をしました。また、文化部の皆さんも、コンクールや発表会などの様々な場面で活躍が見られました。地域に貢献している姿も印象的でした。

「じょうほう織部」に載せることのできる写真記事は限られますが、厳選された“1コマ・1コマ”を皆さんがご覧になって、それに関わる出来事を思い出したり、学校での生徒の様子を知っていただけたら幸いです。

今年度も残り半年となりましたが、下半期も多数の行事や部活動の大会があります。3年生は間近に迫った進路を見据え、1・2年生は文武両道で充実した生活を送られることを期待しています。

**PTA研修会 開催について**

スポーツ栄養実習メニュー

- ・わいわいビビンバ
- ・ミネラルたっぷり豆乳スープ
- ・切干大根のはりはり漬
- ・ヨーグルトを使ったデザート

とき: 10月21日(土)  
9:30~13:30

ところ: 大東高校調理実習室ほか

内容: スポーツ栄養に関する講義と実習

講師: 佐々木久美氏(管理栄養士)

費用: 300円(食材費として)

# 地域課題研究

## 地域課題研究に関して

大東高校 教育魅力化コーディネーター 長濱 雅徳

大東高校では、2学年全員が「総合的な学習の時間」の中で、「地域課題研究」に取り組んでいます。地域課題研究とは、私たちが住んでいる地域が抱える課題に対しての解決策を、地域の方との交流やフィールドワークを通して探究し、地域の方と協働して、アクションを起こすという取組です。

今年度は23グループに分かれて、大東町、加茂町、木次町の12の地域自主組織と雲南市立病院にご協力いただいて、それぞれの課題に取り組んできました。そして、その成果をポスターセッションと文化祭のステージ発表と展示という形で発表しました。



地域のサロンに高齢者が通いやすくなるための企画作りを担当した班、災害時における高校生の役割を探究した班、交通弱者のために公共交通機関の利用促進について考えた班、伝統文化の伝承のために宣伝方法を考えた班、など様々な取組がうまれました。今回は、その中から、一つの班の取組をご紹介します。

「佐世地区の伝統文化について知らない人が多い」という課題に取り組んだ班は、佐世の伝統文化の歴史を調べたり、夏休み中に神楽や盆踊りを実際に行っている方にインタビューをしたりして、高校生目線で感じた魅力等を佐世地区で配っている広報紙に載せてもらうことで伝統文化を知らない若い世代に知ってもらうきっかけになるのではないかと、という仮説を立てました。そして自作のチラシとセットでアンケートも配布し、274人もの回答をいただくことができ、伝統文化に興味があっても時間がなくて参加できない人が多いことなどに、気づくことができました。

生徒は次のような感想を述べています。

「地域課題研究を行う前、私は地域に対して特別興味があるわけではありませんでした。しかし、今回のプロジェクトを通して、地域の方と話したりするうちに、地域の方や、地域ともっと関わっていきたく思うようになりました。また、地域の方のやさしさを改めて感じ、支えられていることを実感しました。」

このように地域課題研究を通して、自分が住んでいる地域の魅力や、課題を知るきっかけになった、という生徒が多くみられました。何より、地域のために頑張っている大人と一緒に活動できたことで、もっと地域のことを知りたくなった、関わりたくなった、という声が多くありました。こういった高校生の気持ちが地域の未来を支えていくことと思います。

校外に飛び出して活動を行うにあたり、今年度も地域の方々に大変お世話になりました。本当に感謝しております。引き続き、ご指導、ご協力の程宜しくお願い致します。



## ボランティア

保育園ボランティア、各種イベントのボランティアなど、多くの生徒が地域に出て、地域の人と一緒に活動をしています。



# 県総体

インターハイ出場を目指して、本校のそれぞれの部活動は、各地で熱戦を繰り広げました。結果、学校対抗で、大東高校は県総体Bグループ男女総合2位となりました。

陸上



サッカー



バスケットボール



ソフトテニス



ソフトボール



バドミントン



バレーボール



空手道



剣道



## インターハイ出場

空手道



本校の空手道部（女子）が福島県で行われたインターハイに出場してきました。女子団体組手1回戦は佐賀東高校との対戦でした。1勝1負3分で大接戦でしたが、2ポイント差で惜しくも敗退しました。

バドミントン



男子バドミントン部の山本翔貴くん(2年生)が山形県で行われたインターハイに出場してきました。シングルス1回戦、秋田工業の選手と当たりましたが、1-2で惜しくも敗れました。

## 高校野球選手権島根県大会



たくさんの応援  
ありがとうございました。



## 文化部紹介

吹奏楽



写真



美術



地域文化(生活科学)



地域文化(茶道)



地域文化(JRC)





新任式



入学式



1年生

松江フォーゲルパーク・出雲歴史博物館

### 学校行事リスト

- 4/10 1学期始業式・新任式
- 4/11 入学式
- 4/19 遠足
- 4/26 前期生徒総会
- 5/13 PTA大会
- 5/26~ 高校総体
- 6/2 町内清掃活動
- 6/23~ 勉強合宿
- 7/11 球技大会
- 7/21 1学期終業式
- 8/22 2学期始業式
- 8/24 オープンスクール
- 8/30~9/2 織部祭
- 9/20 後期生徒会長立候補者立会演説会



町内清掃



2年生

松江散策



勉強合宿inさんべ



3年生

遠足  
赫山高原センター



球技大会



立会演説会

### 織部祭

